



## 研究概要

本研究は、英語初学者の語彙学習を促進する英語借用語(Loanwords)とその派生語リストを作成することを目的とする。海外の語彙リストから**頻度順位 10000 位レンジ**における Loanwords を抽出し、その派生語を含めた **2860 語**からなる語彙リストを作成した(Nambu Suzuki Vocabulary List: NSVL)。NSVL と海外の研究者が作成した Loanwords リストとの重なり語数を**頻度順位 3000 位までのレンジ**で計測した結果、およそ **71%**程度の重なりがあることを確認し、NSVL の妥当性を検証した。NSVL は、**straight-forward**型(直接日本人学習者に提示しても、日本語との差異があまりない語彙項目)を多く含むという特徴が確認できた。NSVL を Web ベースの e-learning システムに格納し埼玉県内の大学生を対象に定着度を確認した。データとして採用したのは **Loanwords とその派生語を含めた 3497 語**であった。2950 語については **90%**以上の正答率であり、語彙リストのうち **84%**を占めた。残る **16%**の語彙は、十分な正答率を得ることができず、Loanwords とその派生語であっても、定着の促進には一定の指導が必要であることがわかった。

## 研究成果(学会発表・論文発表(予定も含む)についても記載する)

南部匡彦・内田富男(2020). TOEIC L&R テストに出現する日常生活語彙を基にした語彙に関する考察

-CEFR-J を軸にして-第 8 回日本リメディアル教育学会関東・甲信越支部大会発表予稿集,14-15

南部匡彦・内田富男(2019). 英語語彙表における語彙レベルの比較分析を基にした語彙平易化に関する考察

-CEFR-J を軸にして-第 11 回日本リメディアル教育学会九州・沖縄支部大会発表予稿集,36-37

南部匡彦・鈴木政浩(2019). 英語借用語(Loanwords)リストと中学校検定教科書語彙リストの比較研究—英語授業学研究における語彙指導の発展過程の可能性.第 49 回中部地区英語教育学会石川大会発表要項, 56-57.

南部匡彦・鈴木政浩(2019).Loanwords(借用語)を利用した語彙リストの作成(英語授業学研究における語彙指導の発展過程).第 15 回日本リメディアル教育学会全国大会発表予稿集,62-63

南部匡彦・鈴木政浩(2019). 借用語(Loanwords)基本語と派生語による語彙リストの作成と活用方法.第 15 回日本リメディアル教育学会全国大会発表予稿集,14-18

南部匡彦(2019). リスニング語彙指導における借用語の明示的指導の効果検証. 第 45 回全国英語教育学会弘前研究大会発表予稿集,464

南部匡彦・鈴木政浩(2020).「借用語を通じた基礎語彙の定着向上を目的とした包括的借用語リストの妥当性検証」『中部地区英語教育学会紀要』49, 119-124.

鈴木政浩(2019)「専門領域の文献講読を可能にするローカル・コーパス作成の試み」『日本リメディアル教育学会 第 15 回全国大会予稿集』p.60-61. 2019 年 8 月 26 日 金澤工業大学

鈴木政浩(2019)「学習方略を配置したシラバスを使った授業実践例—英語授業学研究の視点から—」『外国語教育学会(LET)関東支部 研究紀要第 3 号』p.103-114.

### 【今後投稿予定】

南部匡彦・鈴木政浩(2020)「Loanwords および英語基本語彙とその派生語による e-learning コンテンツの効果(仮題)」『リメディアル教育研究』

## 学会への貢献(会員に対して提供・共有可能なもの等を記載)

NSVL はホームページ上で公開し、会員の閲覧に供する予定である。研究期間はすでに終了しているが、英語授業学的視点にもとづき、中高基本語およびその派生語、語源や音声的類似性から習得が促進されると思われる語彙、アミューズメントパークやテーマパーク等、学習者の身の回りにある語彙とその派生語等をさらに追加し、増強した上で公開する予定である。